

各報道機関文教担当記者 殿

## 10/14 世界的に著名なマヤ考古学者 グアテマラ共和国文化スポーツ大臣が講演

金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センターでは、センター発足記念キックオフ・シリーズの第2回として、グアテマラ共和国文化スポーツ大臣エクトル・エスコベド博士の講演会を開催します。

同氏はグアテマラを代表する考古学者で、特にマヤ文明研究でこれまで数多くの成果を挙げられています。本講演では、古代マヤ都市エル・ペルー／ワカのドラマティックな歴史を跡づけるとともに、最新の考古学研究成果を報告します。

### グアテマラ文化スポーツ大臣 エクトル・エスコベド博士講演会

日時 平成23年10月14日（金）14：45～16：15  
会場 金沢大学人間社会第1講義棟 102 教室（角間キャンパス）  
内容 別添ちらしのとおり

入場無料

また、本学は2011年6月、グアテマラ共和国文化スポーツ省文化自然遺産副省と交流協定を締結し、現地で行われた調印式には長野勇副学長、生田省悟人間社会研究域長、中村慎一国際文化資源学研究センター長、中村誠一国際文化資源学研究センター客員教授らが出席しました。ティカル遺跡に関して、本学が世界で初めて協定を締結したことにより、素晴らしいマヤ文明の遺跡の研究が開始され、より一層交流が促進されることが期待されています。今後、グアテマラ文化自然遺産副省と共同で、遺跡の調査・研究、修復・保存、観光活用、フィールドスクール開催など諸事業を実施します。

については、事前案内及び当日の取材報道について、よろしくお願いたします。

本件照会先：国際文化資源学研究センター  
Tel：076-264-5788

担当：広報戦略室 松本  
Tel：076-264-5024

# グアテマラ文化スポーツ大臣 エクトル・エスコベド博士講演会のお知らせ

金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センターでは、センター発足記念キックオフ・シリーズの第2回として、グアテマラ共和国文化スポーツ大臣エクトル・エスコベド博士の講演会を下記の日程で開催します。同氏はグアテマラを代表する考古学者で、特にマヤ文明研究でこれまで数多くの成果を挙げられています。皆さまお誘い合わせの上ご来場ください。



主 催: 金沢大学人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター  
日 時: 10月14日(金) 午後2:45~4:15 (時間が若干変更となりました)  
場 所: 金沢大学角間キャンパス人間社会第1講義棟 102教室  
講 師: エクトル・エスコベド氏(グアテマラ共和国文化スポーツ大臣/考古学者)  
題 目: 「古代マヤ都市エル・ペルー/ワカの考古学」(日本語通訳付き)  
入 場: 無料  
問合せ先: 国際文化資源学研究センター(担当 吉田)  
TEL 076-264-5788 E-mail [yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp)

## 【エクトル・エスコベド博士略歴】

グアテマラ共和国文化スポーツ大臣。世界的に著名なマヤ考古学者。グアテマラのサン・カルロス大学で考古学の修士号、アメリカのヴァンダービルト大学で人類学の博士号を取得。グアテマラのペテン地方を主なフィールドとし、これまで数多くのマヤ遺跡の発掘調査を実施。文化自然遺産局長、文化自然遺産副大臣などを経て、2010年より現職。

## 【講演要旨】

エル・ペルー/ワカ遺跡はグアテマラ・西ペテン地方の古典期マヤ都市のなかで最も重要な王都の一つで、交通の要衝を押さえることで繁栄を謳歌した。とりわけ、東に位置するティカル、北に位置するカラクムル、そしてメキシコ中央高原に君臨する巨大都市テオティワカンの中に繰り広げられたパワー・ゲームにおいて重要な役割を演じたことで知られる。本講演では、古代マヤ都市エル・ペルー/ワカのドラマティックな歴史を跡づけるとともに、最新の考古学研究成果を報告する。